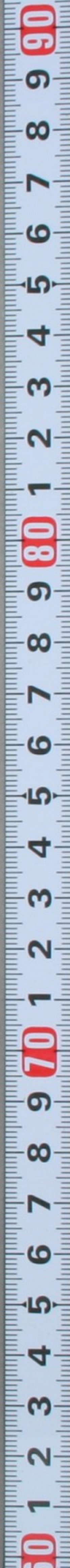


特別
△ 8
467
9





和漢船用集卷第十

目錄

船處名

銅鐵之具



和漢船用集卷第十

船處名之部

金澤兼光編集

舳<sup>トモ</sup> 船の前後此惣名也字彙李斐曰舳船後持<sup>モツ</sup>

舳<sup>カチラ</sup> 控處舳船頭刺<sup>サスカイラ</sup> 擢處也楊氏方言曰船後曰舳<sup>ト</sup>

制<sup>セイス</sup> 水者也說文曰舳舟尾也舳船頭也漢書曰武帝自<sup>ヨリ</sup> 潯陽浮<sup>レ</sup> 江而下舳<sup>カチラ</sup> 舳千里注曰舳後施<sup>ホトス</sup> 舵處

舳前刺擢處也古文後集注舳是船前安<sup>スル</sup> 棹處

同諺解曰舳ハとも舳ハへと注セリ京師伊<sup>イ</sup> 反氏舳

ハとも舳ハへともと注セリ

合類節用曰舳舳和漢所用前後相反並宜照<sup>ス</sup> 考舳

と云へりし和漢ともは漢の由あり

和名類聚云兼名苑注船前頭謂之舳漢語抄曰舟頭制水處也和語曰閔

同船後頭謂之艦楊氏曰舟後刺擢處也和語度毛吳都賦劉良注曰楊雄方言曰舳船前也艦船後也

又郭景純江賦曰舳艦相屬萬里連檣注說文曰舳舟尾艦船頭也張銑曰舳船傍艦船尾也

曰注ふあ後お遠あり

大舟と倍も登毛にもかゝりてこそはとありふも

大船の舳も強もよる浪のよるも我ハ恙もあふ舳先艦と終とすも万葉集和名抄又文選劉良張

銑の注よりの漢者之是和漢漢の出也楊氏の方云は得るより方云は船後曰舳注ふ今に東

呼棹為舳舳制水也と云へり舳ハ水を制する

と云ハ舳と棹とさるの注之又艦の字をるは舟首

謂之圍圍或謂之艦艦といへり漢文は舳艦と云

者棹と持而擢さるれと云又て喬一く不舳

とも及と舳は万葉集和名抄は舳艦へともと云ハ張なり古来より呼まはれへともと云と云ハ



道を港 船底 船底の形もくわたり極よおもきくも沖の五舟

船底 フナソコ 船底也 クイニシヤウキニニラトス 船底又ニ體詩季伸句又船

底 底黏波 鼠璞曰登萊一帶惟平底可用過洋用尖

海舟の船の制異ちること セイコト 和漢同海舟ハ尖底の舟

ハ平底也

船航 ドウカワラ 船底也 フナソコナリ 船底也 シタイ 補とも云今別く

海舟とくわたり シキ 川舟と補ともハ非也 ヒ 東國にて

ハ海舟とて ヒガ 東國にて ヒガ 東國にて ヒガ 東國にて

同舟也 ヒガ 東國にて ヒガ 東國にて ヒガ 東國にて

小直 コナラシ 船航之經也 トモノツキ 船之經 トモノツキ 船之經 トモノツキ 船之經







中柁ナカノカりナカノカとひとりの名也

大オホ柁ノカ 中柁表ナカノカとて柁尾と大柁と云大柁はふてハ  
二階三階ニカクサノカもさるなり表オホノカとハ二階三階なり也

上ウヘ柁ノカ

上の船側也和名教聚ノカ曰野王按ノカ柁ハ大船の旁  
板也字又作棧ノカ和名不奈在ノカ那万彙集敷ノカを  
那と事ノカは他曰舟柁ノカとて柁をたたくはノカり  
又ノカ臺蒙柁ノカ曰ノカとてハノカのノカりノカのノカりノカ板ノカと云  
柁ノカといノカり日本紀神代卷曰事代主神ノカ踏ノカ船柁ノカ而避ノカ浪  
又船柁ノカ此云浮那ノカ倍又万彙ノカもさるなり表ノカとハ二階三階なり也  
柁舟のノカをさるなりとてとて也ノカのノカりノカのノカりノカと云ノカ屋ノカなりノカ舊事紀ノカは船柁ノカとてさるなりとてノカ後ノカせりノカへノカと云

とてさるなりノカとてさるなりノカとてさるなりノカとてさるなりノカとてさるなりノカ  
柁ノカのノカりノカ古事紀ノカ曰不ノカ乾ノカ船腹ノカとてさるなりノカとてさるなりノカ  
鼓柁ノカはノカ柁ノカ也柁ノカの字ノカは船邊ノカとてさるなりノカとてさるなりノカ  
也柁ノカ船積根棧ノカ並ノカ又ノカ桅淮南ノカ子ノカは船弦板ノカと  
又ノカとてさるなりノカとてさるなりノカとてさるなりノカとてさるなりノカ  
とてさるなりノカ也柁ノカハ柁ノカとてさるなりノカとてさるなりノカ  
中柁ノカ上柁ノカとてさるなりノカ也万彙ノカ柁ノカとてさるなりノカとてさるなりノカ  
柁ノカハ字ノカ義ノカ也ノカとてさるなりノカとてさるなりノカとてさるなりノカ  
柁ノカハ字ノカ義ノカ也ノカとてさるなりノカとてさるなりノカとてさるなりノカ  
ハ柁ノカなり武備志ノカ柁ノカ上ノカ樂林ノカとてさるなりノカとてさるなりノカ  
列ノカとてさるなりノカ

百葉

あはれ舟の船より舟はかきこみ船たかきかきあてたかめ

肩

船の上は此幅を云胸の肩を肩と申す或は箇の  
有と云ふ外取くの名を付く取扱は荷舟石  
敷を移る算法を有廻と云ふ

足

舟の原サと云拍を移る入あしと云漢は吃水と  
云小福船吃水七八尺用浪船吃水三四尺といふり  
ふこのあしと漢せり万葉語は葦葉扱は日舟のえ  
らと足といふあし人し大なる舟をい足といふそ  
りあしと云ふり藤垣はあしと云此一説はうら  
舟といふ

舟子載

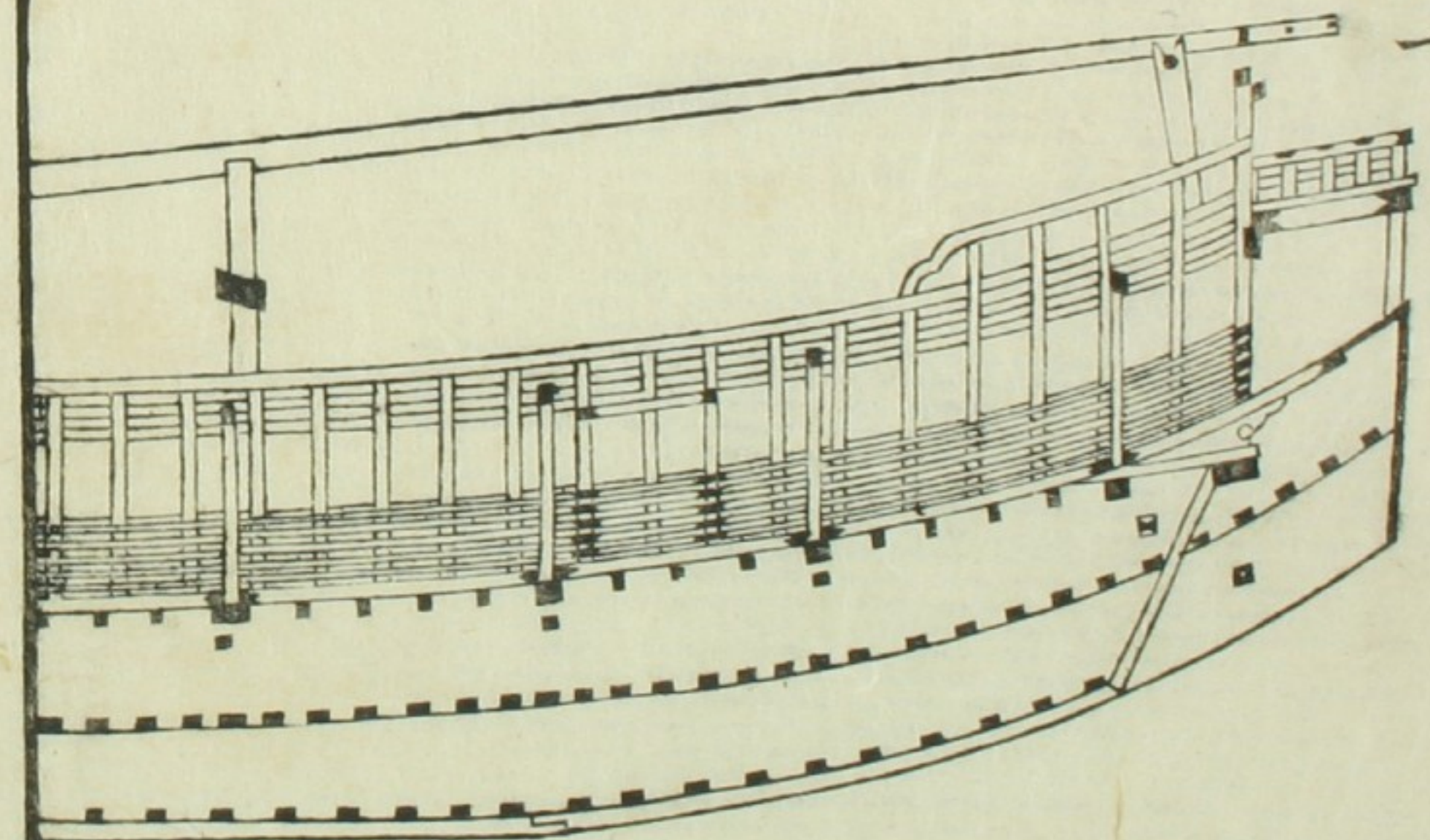
舟一まはれ舟りもりて修治と云ふ舟をいふりつ

船張

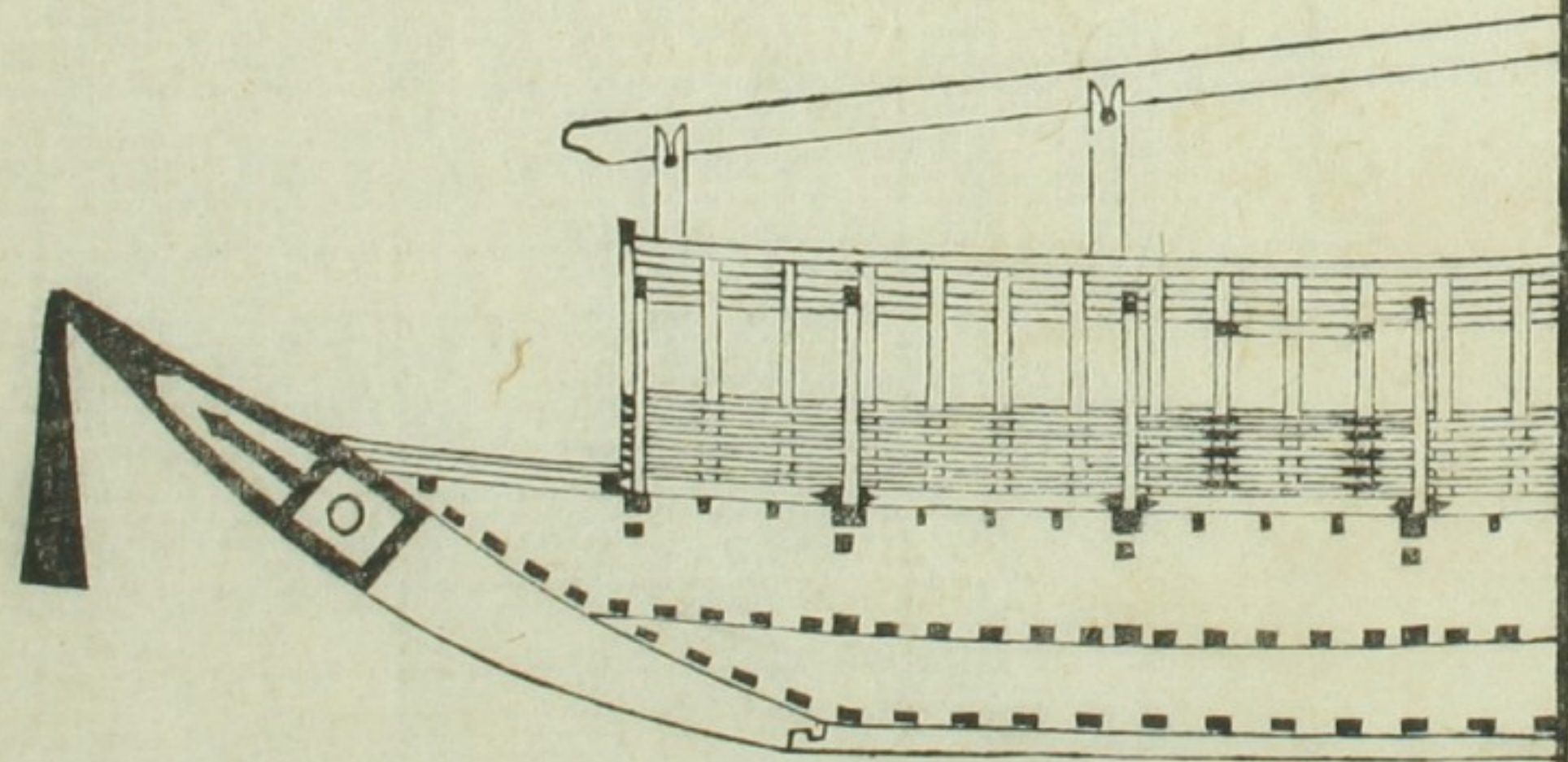
舟梁同か鋪一中世一皆あの名を付て唯上世は  
と云と橋本と云川舟は一通り也綱一表一か一  
船一踏一強一鋪一皆也鋪舟梁おさあり者とくと  
と云南の字用へきり舟方云は日筒圍水つき小舟梁  
うち付けいさしすおし費本まねきの舟張  
と云と云ゆぬきさいまんてち張を十二舟  
梁と云と云人しり万葉は者名張と云ん安治は日  
者名張ハ舟の也よと云ぬは後しり本也け本は若  
くかのを治り扱は舟張のぬと云こといふりこれ

關船五十一

百分之一



六挺立圖



川舟の小舢板と云々なり海舟は上より舟てりこれ  
らと榜床と云々下より舟てりこれら横本と舟梁と云  
々

流鼓舟梁

流鼓と云々舟梁のりよ中舟舟梁也節用は輪も又  
楫敷と云々舟梁は輕り又舟舟のり

斗と云あり舟舟のり世舟張内と種と又ハ舟

梁の上は極と云々舟舟を架一捨と船側の

舟へ云々

濼洞船張

濼洞舟梁也村菴は白雲谷は濼洞と  
化けり濼島還切音濼水曲也洞は徒弄切同

去声空也アハ口通者たれとも濼ハ徒音也お今  
ほはまうせと濼の字を用蒲官切音盤水廻旋也  
又濼と曰術米汁也ハ舟梁舟舳曲空のぬ有て  
米と術のぬ有とハいつとも理よりあり

貫本

今貫と云ハ非ハ貫ハ本葉生と云と云々  
一貫一貫二貫一貫と云てあり

中貫

榜床と舟梁との中貫  
舟中貫舟梁也

合掌中貫

合掌の合掌と云と云々  
上は日合掌舟梁のり

櫓床

上の舟梁を云とも榜を架に舟の各なり

を平池節用雜字大全を不辭書よ出たり將本林同  
注あよんくくり皆るの多を付て略あり

切槽床 キリロトコ 又切舟縁あり川舟切張と云ハ切舟張の中畧  
あり切丁と申付ハくくふつらと張明律

考車手きろちやうと別注

正カイ ニナ 遣越榜床を越舟梁の檣也正目の本を以て化榜  
カヤキ 又考り者おれハ正をと申へき者なり

掛榜床 カケロトコ 又雀と申雀榜床也所雀と云くつり可系  
八十梳と云よめらるをうけつ床と

小間 コマ 爐一番の万貫本と浪實との  
間と云存舟とて又尺と作

綱摺 ツチスリ 回回の摺りもせ也可綱をとりやり摺取杭  
と刃又綱繰とも云藤埴草は度ハ度なく  
とあつとあり

夫本 夫本 備ゆるとまら此舟の度ハ度よりうらまきと也なり  
光後船長

日 日 言上川たのめ舟此つまらて漕はされぬ新先と云ん  
元輔船長

減面 カメノカマ 明律考かめのこくと別注ハ知龜甲の形又板と  
張及龜の甲と云又舟舟とてかんそんと略中舟

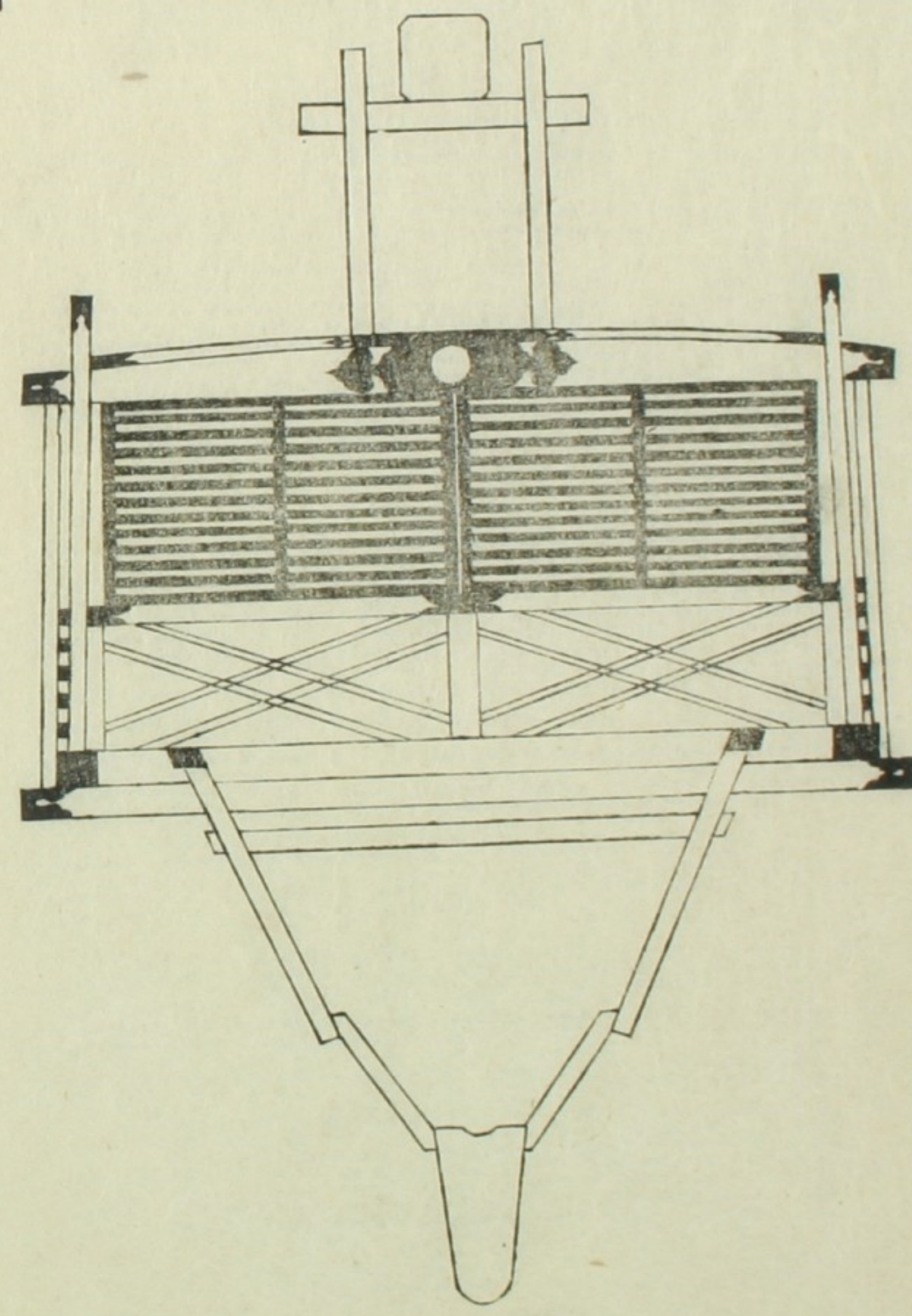
綱操 ツチクリ 綱操の意つり又蠻船と云んそんと呼者ハ日名異抽之

武家感状池又日波列と云まらと云知の民に感  
と云者志やむらに後と云國と云仕ハぬ世付呂宋



# 同 艦 浪 関 之 圖

三十分之一



伊とも云ふあふねわねと申す申入とも或ハ杭燈ノ水と云  
 うと云けねるうと云といハ云非也 関ハ桶 関ハ壘也  
 佛具よしして論ハ去別也

## 艙

艙ハ艙也 舟方ハ深サを尺と云幅を肩と云より  
 艙の間ニノ艙ニノ艙ニ存 摺床多し 遵生ハ牋ヨ曰  
 輕舟下中倉四柱 結頂幔以蓬簞 後倉以藍布作  
 一長幔と云くし中倉と云くのまは後セリ

## 腰當

摺床の名也又筒突とも云川舟ノ艙系梁  
 と呼ばるると云も支體よと云ふ也

## 小倉形

下倉形とも云の表け知帆形して下落るると  
 所別倉形と云る也 倉形也 後倉船後と云

こものろと後せり

牛頭 ニフチ 子丑の利より又一流 ニフチ 舟はおわくハけ如二本

立 ツク 立とらるるくもたふは佛律 ブツリン と安 アンチ 並 シトウ 流 イ 船 シトウ 流 イ の是

水繩下 ミナヲリ 又字中略して水繩 ミナヲリ の下 ミナヲリ ぬかり

蹴上 ケアゲ 室家 シツカ の蹴放 ケハナ 一 ケハナ と云は回船 ケハナ と云

床 トコ 枕 シ 床 シ 明 シ 律 シ 考 シ 下 シ 令 シ こと シ 列 シ 以 シ 又 シ 答 シ と シ 事 シ 和 シ 名 シ

敷 シ 敷 シ 云 シ 舟 シ 答 シ 秋 シ 名 シ 曰 シ 舟 シ 中 シ 床 シ 所 シ 以 シ 席 シ 物 シ 曰 シ 答 シ 言 シ

但 シ 有 シ 筭 シ 貫 シ 如 シ 答 シ 床 シ 也 シ 和 シ 名 シ 布 シ 索 シ 度 シ 古 シ 是 シ と シ 以 シ て シ 又 シ 凡 シ

八本 シ と シ 同 シ 事 シ 子 シ 也 シ と シ も シ 冬 シ と シ ハ シ 事 シ ず シ 務 シ と シ 架 シ 以 シ 板 シ 櫓 シ

床 シ と シ 事 シ ハ シ 和 シ 漢 シ と シ も シ 以 シ 同 シ 枕 シ と シ 架 シ 以 シ 者 シ 亦 シ 凡 シ ハ シ 枕 シ 床 シ と シ

九 シ 口 シ 枕 シ の シ 身 シ 本 シ と シ 細 シ 糸 シ 或 シ ハ シ 膠 シ 洞 シ と シ 云 シ 俗 シ 一 シ

大栓 タイセン 栓 シ 和 シ 名 シ 枘 シ 曰 シ 本 シ 釘 シ 也 シ 床 シ

子持 コモチ 又 シ 合 シ と シ も シ 事 シ と シ も シ 云 シ 獲 シ の シ 字 シ と シ 事 シ く シ う シ う シ と シ 云 シ 維 シ 之 シ

略 シ 之 シ 樽 シ の シ 字 シ と シ 凡 シ 一 シ 字 シ 以 シ 曰 シ 船 シ 底 シ 孔 シ 愚 シ 按 シ 舟 シ 字 シ 不 シ



完檣アナホビと云ふ小を子根ヲサムを細く風をたぐく一丈二百里と  
 するヨユギ舟タテギはあつてをタツムきぬ海舟ハ横本ヨユギは用川舟ハ  
 級本モトキコエ用本肥モトキコエ根と用小名イササ這座又作拜座又作  
メクラスヘ明津考メクラツエやうくくと制クシは子持のせり本也又音杖  
 こそいつても強クシとをいり川舟ハ引メクラツエをさる  
 切張メクラツエより又筒メクラツエよよせて本をさるらせふと云  
 せりくけ本あり

筒

眉メと雜字メ船隻門メは捲行メと云ハくメカ云筒のメと  
 云ハくメ又裁メの字メは曰メ押船本也メ愚業メ捲行ハ帆  
 柱メのたてと強裁ハ船メをたさる本字メ也壽メありふ  
 本邦筒メと線メさるの利也舟の中央メより方メて神と安座

以筒男ウツの祓乃ウツ海名ウツよれり筒ハ列舟ウツ也足利ウツの  
 氏ウツ公西國ウツより上ウツ船の刻ウツ親世ウツ考の絵ウツ像ウツを自画ウツ舟毎の  
 舟ウツ名ウツをせ終ウツと云へり舟ウツ玉ウツハ筒ウツ之舟ウツ玉ウツ神ウツハ様ウツ田ウツ老ウツ大神ウツ小  
 ころりウツマと板筒ウツハ神ウツとて他ウツの古法ウツ也云くハ神ウツは  
 八筒ウツ又他ウツの大本ウツ子ウツ近代ウツ是ウツより申ウツり小松ウツと用ウツく  
 送本ウツとさるハ神ウツは云ウツ張ウツさる者あり又曰ウツ送本ウツは  
 化ウツることハ列ウツはウツ船ウツハ位ウツ者ウツ大神ウツ守ウツ護ウツ一ウツ路ウツ  
 八列筒ウツ又安置ウツは根ウツを以ウツ神ウツは用ウツりこそ板ウツ事ウツも  
 後ウツ橋ウツ也  
 波ウツをハ志ウツ申ウツりか氣ウツ位ウツ表ウツの根ウツを神ウツハ様ウツありと云  
 帽ウツ子ウツ 筒ウツの上ウツは被ウツりウツ板ウツの名

指天

帽子のふらあり天と云ふことと云ふは云ふを云ふ  
けうあ爪つりてさしたるのこしくけうあ爪つりて

檣

架さる者又川舟棹走りの先天流る云天を尾  
としてびくと云海舟河舟ともひく先といふ

そ接と云ふこと

筒校

帽子指天より中り者  
ぬく若舟よりぬ也

相木

家屋の梁は回し者  
矢倉相也通相切相り

相立

相と云ふは相立なり  
亦あり立を云

牛頭立

舳あゆみの海り立  
若舟より二本立と云

矢倉立

相よ立柱をれとも垣立の内よりけり  
と云皆向の名を分るけり

歩

扱とも云二名一扱也海舟より歩と云川舟より  
扱とも云又歩の扱ハ別よと云舟の扱は又扱歩

と云てと云ともけり  
と云て明律考陸耳と云とも  
と云て表歩あり舳歩あり扱すともよよと云と  
一ト云と云扱と云へ一帆扱と云中扱と云僕よ  
扱と云と云あへ一一字江船の樓頭此本と云へ一  
扱ハ扱の字と云ともあゆともさへ一

物見 モノミ

換先の間と云け知るをよふく板のりきと  
く板と云撃板也船の檣此木と教ふと云漢  
經傳のりしと云くく

樓 ヤクラ

吳書曰宴飲於船樓上凡大船ハ表也くく  
表樓 舳樓のり 矢倉とも小舳ハ舳樓のり  
也 武有走 走樓と云ハ樓舳のり 明律考  
尾樓又并棚頂ともハとも舳くく 檣樓のり又  
矢庫とものり 荷舟大舳ハ孫底あり小  
又 矢倉根を 矢倉板

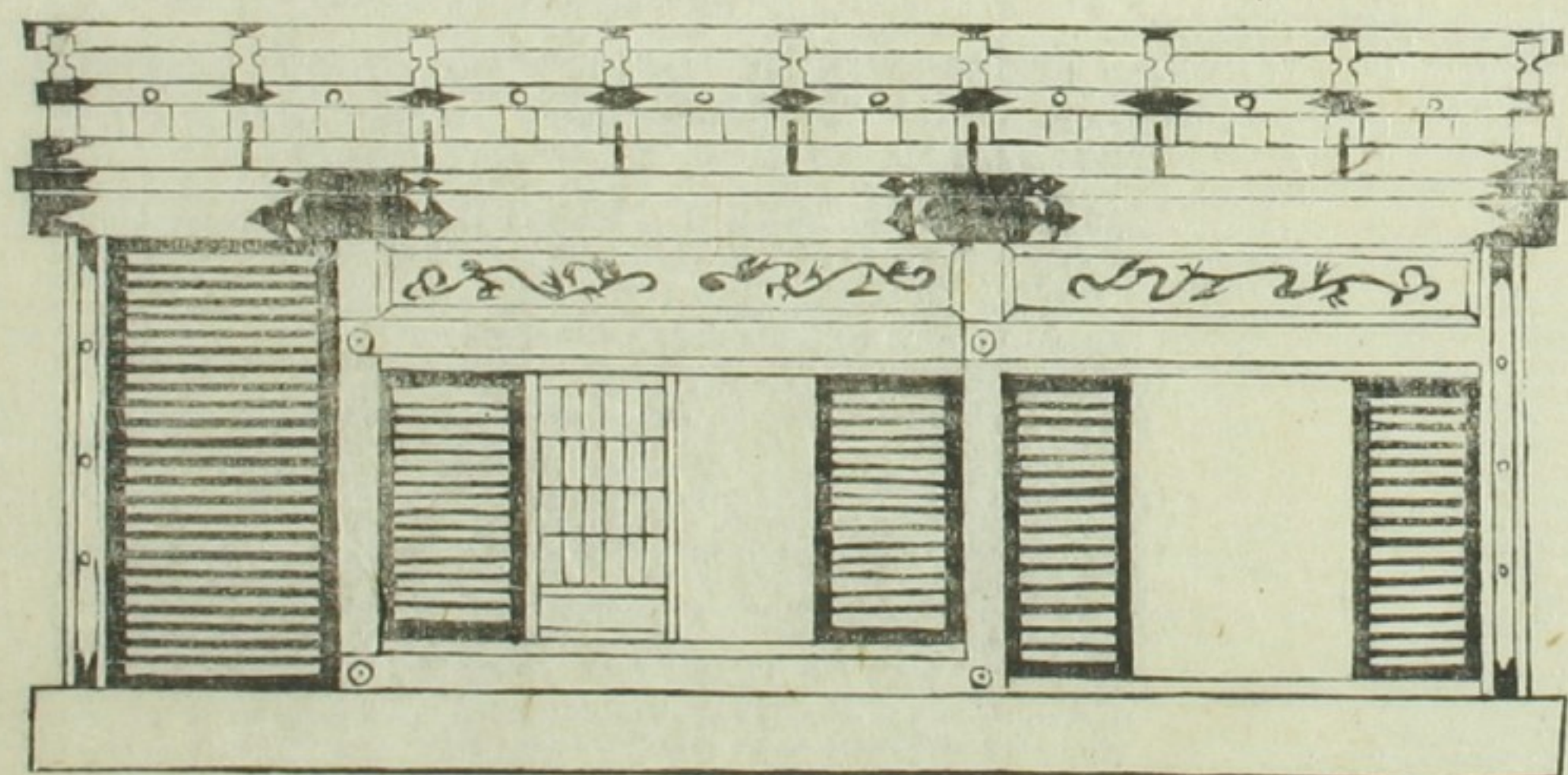
將几 シヤウキ

乃基と云ハ遊之け所舟大船の居所なる故乃  
のりと云舟ル又机とも云表舳形の名なり

廬 ヤカタ

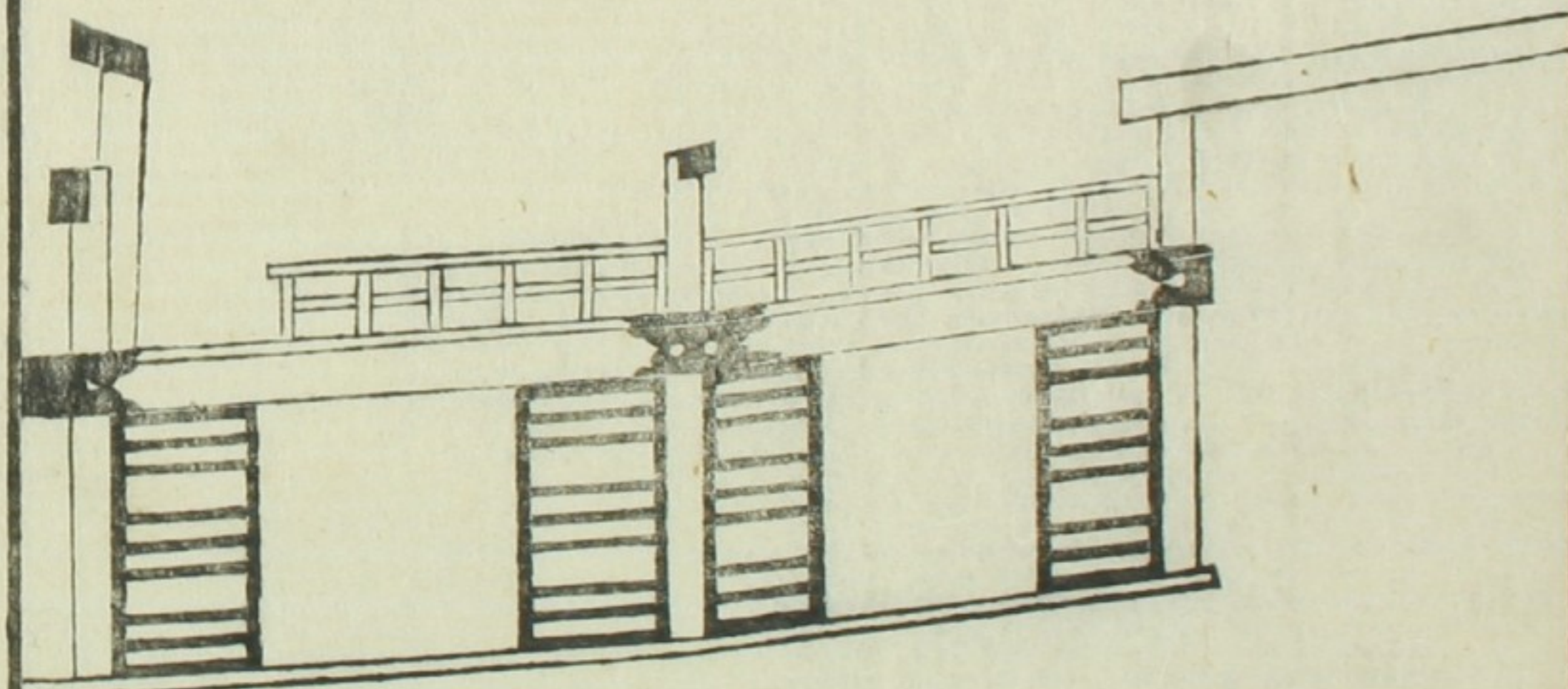
楊氏方云曰今に東呼船頭屋謂之飛間と云ハ  
舳形同秋名云舟上屋謂之廬言象廬舎也字  
彙曰舟上の屋と廬と云重屋と飛廬と云又其  
上は在と雀室と云言ハ中候望と雀之致馬祝り  
と云くくくくくくくくくくくくくくくく  
廬ハ下舳形飛廬ハ上舳形雀室ハ日霞屋形也二  
家物流又ニツ棟依りくく舟といつハ今川舟の形  
上段次と云のニ棟なるへー舳ハ舳屋也舳屋 船廳  
並又ふを舳くくくくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく  
根を曰板舳板と云 檣浦居鴨居中浦居高浦居

圖 之 廬 艫



棚 帆 舳 同

五十分之一



ハウタテナゲレクニテシヤトコチカキカチハコケコミフスミシヤウジ  
方立長押組と井床違棚刀架造込襖障子  
敷子戸遣戸等也

川舟座船ハ椽葺屋祿トモト外又雨多ク  
棟椽葺負裳側架椽破風品板窓板拵角燈籠座  
破風作むくり破風白遠屋祿ホモウ昔ハ海内座船ホ  
け割と川舟座船乃の多於凡上階次之間舳樓也座  
船の左太座並の柱と立屋祿と付る是と旗屋祿と  
云旗屋祿トモト云表水押ハ出るとおし屋祿と云け  
下は有座と小於凡と云舳の舳舳也舳久念の舳ハ  
舳と云送りと云舳の舳舳舳と云有座と云  
舳久念と云

トニヤカタ  
蓬庖

爾雅曰舟上屋也和名布素夜加也和名抄管下  
よあるんともやうことまべー凡管ハ舳の用具よ  
て何舟トモト云忘れとも舳舳と云ハ小舳ハ

新後撰

と海やうと松なうれぬうね祿ハ後やハ又事なりきとも凡  
順徳院御製

カキスエヤカタ  
舳居屋舳

源平盛衰記よるへり  
海内ともハ小舳の屋舳也

ホガナ  
帆棚

舳居舳之橋と立帆と書おろしと名舳表帆棚なり  
小名縦横の框中挟立扉板言欄中舳居

ワキノ  
帆之間

帆の根元の繩のさうら舳あり

船 フネノド

舟の意也。船曰一。後海舟等あり。月入船窓と云ふも作あり。

臺 ダイ

船のたもとより垣立の意也。檣座のよと並者。同の名を付く。呼船一。冷る一。表一。舳一。及一。

校間臺 サマダイ

舳まの向なり。たもとあり。

腰臺 コシダイ

垣立の意也。檣座より舳の板より舳を。諸列舳法二流有り。一ツハ岸津流と云一ツは場流と云。是舳列と云は口徑場八等ありの流之每舳を。

鋪臺 キダイ

及舳の下よ。及舳のたもとあり。

社板 フセイタ

及舳の下よあり。其取社のこと。

大立 ヲホタツ

華表立と云ふ名あり。とも舳の大立なり。

笠本 カサギ

華表立の笠本と云ふ又横上とも云。明律考控檣よと云と別と云ハ是。

角立 スミタツ

垣立舳の角りまの角立なり。大立のたもとあり。

中立 ナカタツ

同大立と大立との。中立也。二本あり。

小立 コタツ

中立と角立とのる笠本の。上の小立なり。角相は作らる。

ヤキリタツ  
矢切立

船の隅に立る板也  
又送り立とも云

カサキリタツ  
風切立

表一丈の  
板立とも云

カキタツ  
垣立

舟の板に立垣と云垣半垣作り舟板  
垣丸垣等作り武備志女櫓と作り八板例の  
立立者指の板を多く一三休船は二櫓八女櫓也垣  
板上垣と作りひめらと後く今垣の目録  
の板を云天工用物は白徳國海船兩備列櫓手櫓  
板抵水人在其中運力 櫓板かきと作り  
雨覆 アニラホヒ 垣立の板を後作りた板舳ま白廻り

スジ  
筋

よ作り袖垣は舳の作り板と作り

又き縁とも玉縁ともいふ  
舟法筋ともハ筋骨ともなり

ヌキ  
貫

垣立の貫也と貫下貫地貫  
押への貫又ま白作りあり

サレイタ  
指板

垣立の間は入板也  
舳方指板とも云

ソテカキ  
袖垣

舳の板に垣立を多く作りと云本立とも云  
川舟産舳は板を多く割は彫刻華美なり  
大舳は四角より作り種車立冷る一筒板舳  
車立作り中舳以下八冷る一

シヤタツ  
車立

絞車座

船以下八舳の方斗絞車を用表八車知と

刃小船ハ飛艇也

舵巻立

又舵杖とも云又云

手造

船底余余之下ハ押入物也小名立座の板櫃

日間板

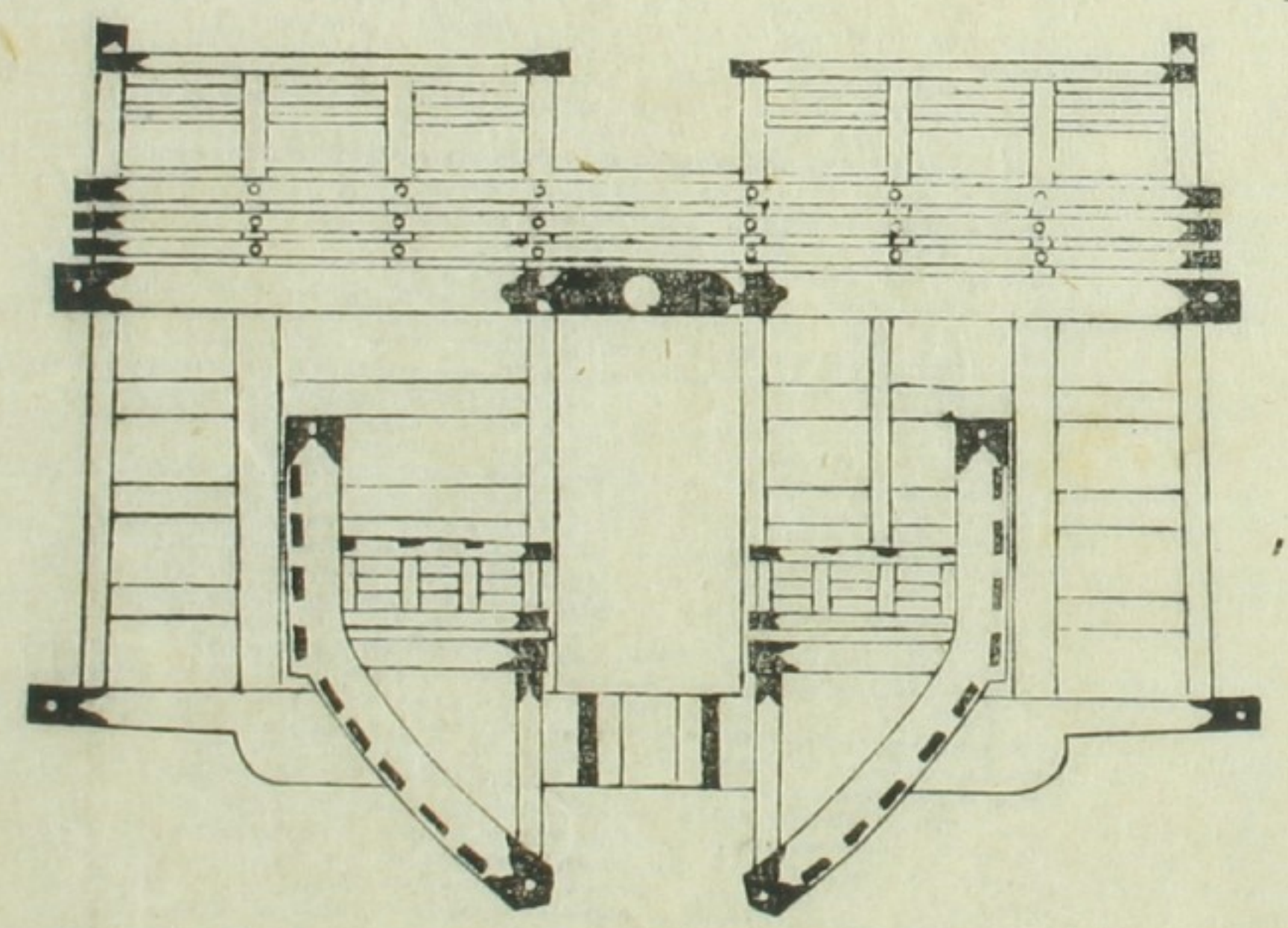
又日間板と手付ハ又字中略して板櫃板と云ハ

ま舳

ま舳の熟名とも云本のと云ま舳廻りとも云

同舳真向之圖

五十分之一







にはり或ハ通口と申舳舂たふよりの船舟にて表  
 の罷れは傳る込と云傳るを引込ぬ也蓋のよフキタイ蓋蓋  
 と云若かりけぬを蓋の紐立と云とカニコ挽と云今  
 もまきよぬ古燈よりへーろろいとせういと云うと  
 昔ハ傳る又ハ小船をカニコと云ーと云くーり因  
 別湖山の池と云ぬよ小船をカニコ舟と云付今も  
 四角の方よりくハ傳る何れハ小湊舟をカニコ  
 と云り

みくさみ

ツク繩六五口古掬繩カサリと云くを傳る舟の飾  
 八雲所抄よ田ふくさみの舟にうらりのあり

藤垣まよ云海舟よと云おなりと云り又ハまきに云  
 へんくさみと云ふ舟と云うよまよと云うらりのあり  
 藤垣と云へー愚按ふくさみの棹と云へきまなり  
 大船小船よと云舟よツム棹を横舟只の板舟は遠  
 ちと云く行と云ちと云てトミ船と云う也是船のあり  
 うらのおとさハ是と云う又ふくさみハ水ま編と云  
 へー是今よくさみと云う船のくさりと云は浪よ  
 け也とのよと下れいと横の通者たれハ浪と云一お  
 とさうらあへさみと云も水まを編と云うを云なり  
 徳田法師のよせも小船の波よけと云きと云月  
 具の船よと云るハ藤垣の船と云ハくさみと云

去り道と色今唯知ふあさり

四五 若くさひのよは舟押縁又玉縁と云  
大里小口又登り口と云

除柁 ノケタナ 廻船後海舟等方々船方の  
ふくさひ也又若くけり

割付 ハキツケ 船舟上柁のよは割付り者  
を子舟小船とよまると云

船切 シホキリ 若舟橋床の表は付る者  
船切とも云又水押りとも云

惣引 ソウヒキ さくききまると云一と柁の表は板と  
川舟上柁の終りの知由は舟板と云  
馬乗立 ウミノリタツ 船水押の附るよまると云

名なり小又藤舟後海舟等と云

藤板 シトミイタ 藤立へさくり入る藤よまると云  
表のよは藤と云小又後海舟と云

藤縁 シトミフチ 白とよまると藤縁と云  
下よりと相縁と云

撓立 ユリタツ 小立と云一或ハ立と云と云らと云ハ舟の  
方云也經本小立と云と云ら

高楠 カウラン 船形屋々々らり小名地度丸舟  
中柳株立小立と云と云捕也

欄干 ランカン 小名地度立  
平柳黄気欄干也

ワラビデ  
蕨子

カウシラシカシ  
標標干比留りふりり相とつは紫塵嬾

蕨人拳手サワビとて蕨の形も作り故又名付

モチヲクリ

持送

おし原糸よりり明律考抱掬まうくと別は

毛目しちん又小と小様と云猫と云ハちよる付のふ

舟舳のちし原糸也雜字大全又於律考より

タシヤクラ  
出失念

違と云とも原糸と後せり又牛標と云ハとも乃

らんえと別は川舟よハちし原糸舳種よりり小名

框基輪根を補板耳板字欄名也ま向の磨輪舟舟

そく横巻と云結と云と又切立と送立又結と云けとに

原よりと舳既標と云又た敷標と云を敷と云所也唐

船と云菩薩堂と云舟神と云並と云う板なり

ヒラホヒ  
日覆

大船ハ夫念のよよりり小船ハ垣立の内よ付く立

と云火並よきと也小名立柳梁等といはち丸き

柁又方よりり穴よりり若之案玉丸轉又日圓柁而方鑿

分吾固知鉏鋤難入揚升庵日方柁圓鑿則

不相入と云つと云お敷せと云とと云をれと云

方柁圓鑿ふハ入くく圓柁方鑿よハ入やと云き若く

ツミイタ  
包板

け板又口毛漆立丸柁と云柁の穴方よと云ハ包板也

若舟ハ板廻り磨板よりて包也

ヲソコイタ  
大底板

この舟も大船ハ中柁よりり下廻り包より

アホリイタ  
浚落板

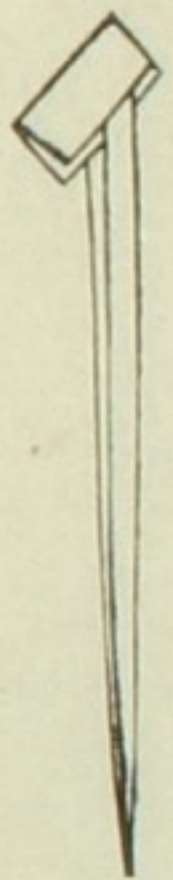
か浦中柁上柁下通り板てりありと云泥濘と云ハ

板よりり馬也浚落と云ハ一毛よお板と云

銅鐵金具之部

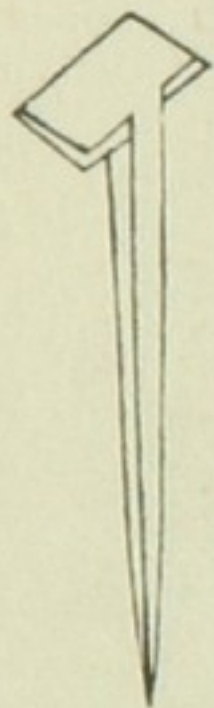
メヲトクキ  
女夫釘

艦とかわらぬの釘大船小船より水押船  
に於て釘強弱二種より異なる板支障釘と云



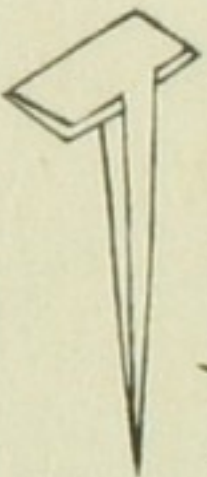
口ッ釘

舳とかわらぬの釘也大船小船より水押船  
に於て釘強弱二種より異なる板支障釘と云



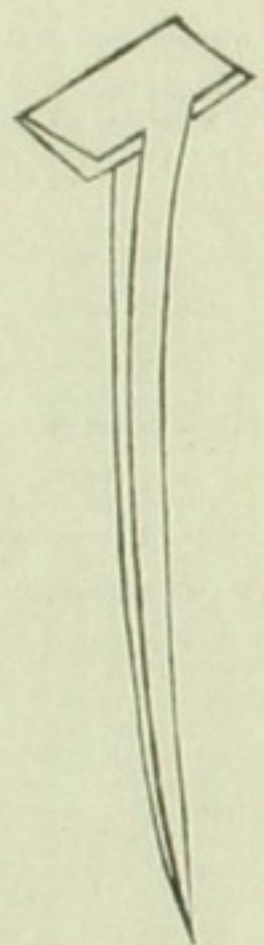
ツキテクキ  
繼手釘

うろこ小並舳航又中柁大船等の釘川舟より  
浦舟等の継手釘也又よこらと云



カニラ  
頭釘

船梁釘加浦釘中柁釘上柁釘舵釘也  
中柁上柁ハ水押釘と云て是等のあり釘  
と云又例釘ハ小並り釘と云ハ長ハ小長短と云



ヌイ  
縫釘

又おとと云は釘と云  
あてと云きめを縫釘也



カイヲリ  
皆折釘

所々又用川舟等と云釘を板釘と云モ外  
寸を以て板釘と云ハつたのなるべし

小皆打 コカイラリ

敷の皆打と云ふ大敷小敷と依けしを部す  
みふ三寸四寸と云ふ者も云ふと云ふ



平打 ヒラ

傳道破場櫓船等平打也  
是と平と依大中小的あり



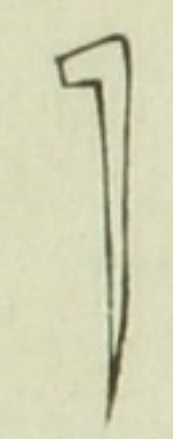
矢倉打 ヤクラ

矢倉板を打也皆寸を以て依是包釘  
と同者之家屋も用々打と依り不足を用

次一連大一連二連三連五連六連と云者家打と

包釘 ツミ

包釘を以て云々連と云者大一連一把釘の敷十  
みか其餘六釘の名も二を掛て一把の釘の敷と知し  
包板を打大包小包と云てあり是も又大  
敷小敷と依新頭と云者も云々四方打也



大底打 ヲホソコ

包釘の大底打を用  
大底板と云の名也

淡路打 アホリ

包釘を用あり板  
と云の名あり

録 カヌカ井

和字也今專通し用下字集録と事合敷節  
用は送と事延喜式和名抄よ出

良安曰鍍大釘形如「」字而端尖釘二本繫固者也  
也と云へり曰角つてあ爪とを線と云片爪横  
よ舟とを遠線と云幅廣く厚薄きを平線と云  
又編線と云と又掛る床と約は掎袋舟と云と用



鑿

合衆部用之環と申雜字大全船隻門は櫓環と  
云ハ早編環也其用は船又係る名と云大小  
大は一環 又大此と云帆足と云細を通は者  
ひつと云は索舟の帆足と云と云早しと云 水繩取  
あ方 扱取折込環等と川舟ハ舳撞袋環  
大環をり床と云と云子編環下立等と云今鉄と

と云く通し用又方つて根紐と云者是を糟洗と云

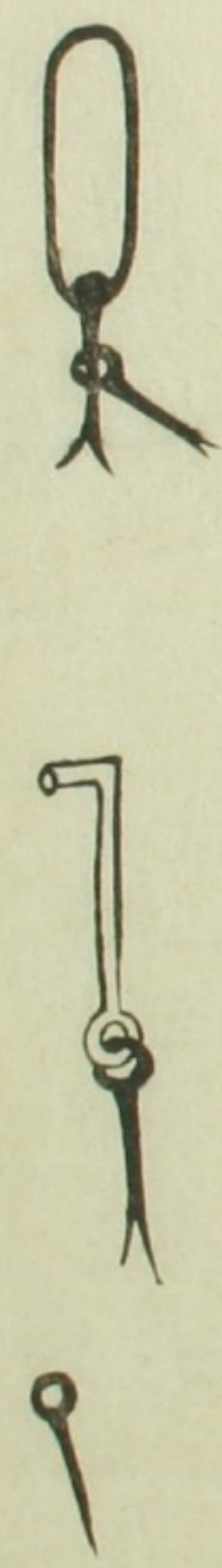


鈎匙

合類部用鑿同輪鑿りり扱掛灘ありは是を  
肘灘と云今多く掛合と申通刃は是利なり

鈕

襷のうけつら也今坪と申或ハ蚕と申者大ハ  
糸也扱込刻根の糸あり



肘鈕

肘と紐と二ツを二つと云也今産子と約者又

るは並に羽りをもむるゝ紐と云実上は羽りたを時  
の嘴と云或ハ霧の嘴と云いり



ケワイカ子  
化粧金 水押の飾金物之御切角金指 帶金物

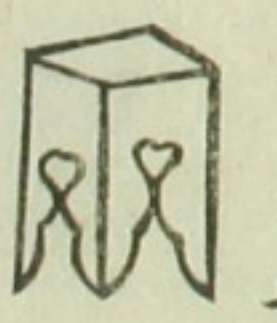
送插中筋 を方去より名のうりり  
川舟よハ送輪 化粧金也或ハ名殺又處名のみよ  
又ハうり廻船髪カモシの上よかふせり甲柄と云

ヒラカナモノ  
平金物 基座より横上座座の意插より帆振下を  
柳ありまむハ双入ハ双ありまむ所より名  
と云也去輪或ハ減金毛彫座を割は又ハ七子お

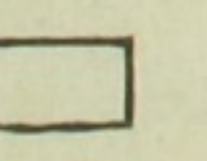
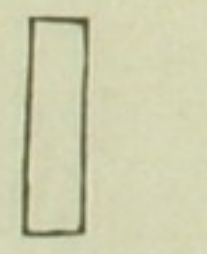
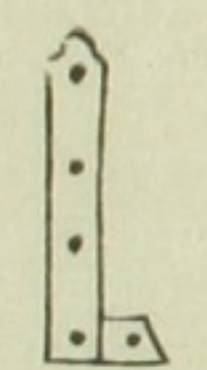
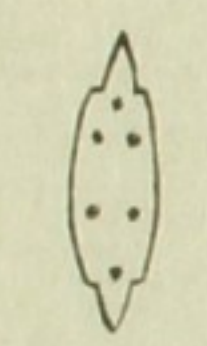
あり又去実め素細線去陰行り



ツキン  
頭巾金物 湯原の令物之鼻と云き傍糸鼻巻湯知  
利風切立角立前座後ホ也



サ、  
笹金物 達り金物 以上ニツハ言欄探干  
垣立よりあり



イレカシラ  
入頭 釘の爪を添す金物之上世知利  
川舟よハ第あり産立あり



砲頭丁 ヘウタクキ

蒙國彙よ云俗よ云乃る釘也又砲頭丁と  
半今俗とすて通用を和字と



鉗 クニガウ

和名抄曰乃之加を乃久岐漢語抄云頭高太釘也  
蒙國彙浮漚釘俗よ云くらんくう蓋云曰鑲甲

水押の飾垣立筋廬長押等を用

外舳鈎鉄 ソトトモツリカ子

鉄或ハ銅と云  
本と刃為本と云

糸巻鉄 トコニキカ子

舵糸の丸に此方糸鉄と云  
を令おちり

和漢船用集卷第十終

